巻頭言

理事長　　萩　原　繁　之

敬愛する大先輩の塩沢忠和弁護士の跡を襲って、昨年夏から理事長職に就き、今般初めて巻頭言を担当することになった。

県下の労働運動のシンクタンクの理事長というのは身に余る重責の上、業務上の都合により、当分の間は下田を本拠地としながらの活動となるので、片桐事務局長始め諸方面に何かとご迷惑をおかけすることを恐れるが、お引き受けした以上、可能な限り研究所の発展に尽力したい。

よろしくお願いします。

さて、下田に赴任することとなり、下田で使用するためのパソコンを今年になって新たに注文した。大手パソコンメーカーの直販のモデルで、「２０１０年春モデル」と称する新製品を、発売・注文受付開始までずいぶん待たされて、１月下旬にようやく注文が受け付けられた。注文受付の際、製品の完成、発送、到着まで約２週間ということだった。

下田で借りたアパートにはテレビもない。注文したパソコンは、仕事と余暇との双方に大いに活用したいので、注文した当初からその到着を指折り数える気持ちでいた。

メーカーのホームページでは、自分専用のページにログインすると、自分の注文したパソコンが現在どのような段階にあるかが一目で見られるようになっている。「注文受付」「注文確定」「生産中」「配送準備中」「配送中」「配送完了」といった具合にである。

待ち遠しい思いで、ついつい毎日のように、パソコンの到着へ向けた進行具合をチェックし続けたが、何と、私の注文したパソコンの状態は、「注文確定」の段階から一向に進展がない。注文から１０日を経ても一向に「生産中」の状態にすら、ならないのである。これでは２週間で届くとは到底思われない。

たまりかねて、フリーダイアルで問い合わせをしてみた。

応対した係の人の回答は、「ご注文いただいた製品は、ただいま注文が殺到しておりまして」。殺到する注文に、対応が間に合わない、それで製品の完成、発送、到着は当初の予定より遅れそうだ、とのこと。２月の中下旬から場合によっては３月になることもあり得るのだそうだ。

不景気、不況といわれる中でも、人気商品には、注文が殺到して納期が遅れるという事態があるのか・・・・。

いや、そうとは限らない、と思う。私自身が選んで注文した製品だとはいっても、さほどの大ブームを呼んでいる超大人気商品とは、とても思えない。だから「注文が殺到して」いるといっても、その絶対数がさほど爆発的に多くなっているとは限らない。生産規模を縮小していて、一定以上の注文に対応できる体制を整えずにいるため、消費者に納期遅れの迷惑をかけている、ということではないか。それでも増員などによる生産拡大は図る気配が見えない。そんなニュースはどこからも聞こえてこない。

そこには、不況の中、増産による増益よりも、設備投資の拡大や人員増によるコスト増の回避を優先する企業の姿勢が感じられる。あくまでも感覚的な印象ではあるが。

昨年秋にも同様の経験をした。車検切れとの関係で業者に勧められるままに自動車を人気のハイブリッド車にしようとしたら、注文から納車まで何ヶ月も待つとい

うことだった。大人気の車種で生産が追いつかず、消費者は納車まで何ヶ月も待たされる事態となっている、ということはニュースにもなっていた。しかし、設備投資の拡大や人員増で増産を図っている、などというニュースは、寡聞にして聞かなかった。そして、今は、ブレーキの不具合が指摘され、リコールが問題となっている・・・・。

利潤追求が至上命題の営利企業といえども、人間の生命、生活、安全を軽んじることのない社会を成り立たせるためには、雇用の確保、製品の安全と品質を維持確保するための体制と費用の確保、などの社会的責任を果たさせなければならない。そのためには外部の社会からの圧力、強制がなければならないだろう。

その役割を果たす存在としても、労働運動とそのシンクタンクの存在意義は小さくないだろう。また、消費者運動と労働運動とのコラボレーション（協働）なども もっと考えられて良いかも知れない。